

会 議 議 事 録 （ 抄 ）

会 議 名	2025年度専門学校東京テクニカルカレッジ 第2回建築系教育課程編成委員会
開 催 日 時	2025年12月4日（木）15時40分～17時00分
会 場	専門学校東京テクニカルカレッジ 2階 204教室
参 加 者	< 外部委員：4名 > （順不同・敬称略、役職は委員名簿参照） 稲村 健一（株式会社稲村デザイン建築研究所） 吉田 修（西松建設株式会社） 佐藤 剛（一級建築士事務所A-SA工房） 今原 経介（西松建設株式会社） < 内部委員：4名 > 甲田 竜雄（専門学校東京テクニカルカレッジ 副校長 兼 建築監督科科长） 野上 和裕（同 建築科科长、議長） 白石 越朗（同 建築監督科教員） 山下 光成（同 建築監督科教員、書記）
	< 系別分科会 >（第二部） 1.議長挨拶 2.前回（系別分科会）議事録の確認 3.意見交換
討 議 内 容	■建築監督科 分科会 参加者 < 外部委員 > 稲村 健一（株式会社稲村デザイン建築研究所） 吉田 修（西松建設株式会社） 佐藤 剛（一級建築士事務所A-SA工房） 今原 経介（西松建設株式会社） < 内部委員 > 甲田 竜雄（専門学校東京テクニカルカレッジ 副校長 兼 建築監督科科长） 野上 和裕（同 建築科科长、議長） 白石 越朗（同 建築監督科教員） 山下 光成（同 建築監督科教員、書記） 【甲田・野上】 学校教育法改正に伴う制度変更および通信課程の進捗について報告。 そのうえで、制度全般およびカリキュラムに関してご意見をいただきたい旨を共有。 【甲田】 建築監督科および建築科の4期制カリキュラムについて 「履修科目履修時間表」「シラバス」を用いてカリキュラム概要を説明。 【吉田】 5期制から4期制へ移行するにあたり「教員側の負担と学生側の負担はそれぞれの程度生じるのか」について質問。 【甲田】 「5期制と4期制では授業コマ数の総数および分割方法が異なるため、時間割編成、講師配置、授業資料の再構成など、 教員側には大きな業務負荷が生じる」と説明。一方で「学生側の負担増は基本的に想定していない」と回答。 【稲村】 卒業制作は例年所定の水準に達しており、現状その水準は確保できている。 その状況下で、学生の製図力向上を目的とした実習科目の増加は、学生負担を過度に高める懸念がある。 また、製図力は演習量に比例して向上するものではないため、実習増加は逆効果となる恐れがあると指摘。 【佐藤】 専門学校生は大学生と比べて自由に使える時間が少なく、アルバイトや中長期インターンシップなど、実務に触れる機会を得にくい。また、コンペ等に割く時間も十分に確保できていない状況を指摘。 【甲田】 建築系学科の入学者属性として、建築やものづくりに対するモチベーションが従来より高くない学生の割合が増加している傾向が見られると報告。 【野上】 学生は「好きなこと」「夢」への志向が強く、機能性・合理性よりも空間デザインやファサード検討に偏りがちであると指摘。 【白石】 2026年4月開設予定の通信課程建築科について 申請・認可等手続きの進捗、通信受講生の募集状況・属性、オンデマンド講義の準備状況等を説明。 【吉田・今原】 通信課程修了後の採用方針について説明。 新卒採用：基本的には通常選考に準ずる。 キャリア採用：実務経験および保有資格を基準とするため「1級建築士の受験資格があるだけ」の段階では採用は想定していない。施工管理技術者として現場に入る場合は、技術派遣会社に所属し派遣社員として勤務する形であれば可能性ありとの見解。

